

令和8年4月9日公安委員会会議概要

第1 会議日時

令和8年4月9日（木） 午前9時40分 ～ 午後4時00分

第2 会議場所

公安委員会会議室、公安委員室

第3 出席者

1 公安委員会

松永委員長 久保田委員 三輪委員 杉山委員 中山委員

2 警察本部

本部長 総務部長 警務部長 生活安全部長 地域部長 刑事部長 交通部長 警備部長
情報通信部長 首席監察官 サイバー対策本部長 警察学校長

第4 議事の概要

1 審議・報告案件

(1) 新規採用警察行政職員に対する指導教養の充実強化について（警務部、警察学校）

警務部長から、新規で採用する警察行政職員に対する指導教養の充実強化について報告があり、委員から「警察官と警察行政職員が両輪となり、組織全体で成果を出していけるようにしていただきたい。」旨の発言があった。

(2) 警察組織の構造改革・優秀な警察官の確保に向けた新指針について（警務部）

警務部長から、警察庁から示された警察組織の構造改革・優秀な警察官の確保に向けた新指針について報告があり、委員から構造改革について「行政機関は組織間の連携が苦手という印象がある。警察がそのような連携の先駆けとなってほしい。」旨の発言があったほか、人材確保について「将来なりたい職業として、警察官は小学生に人気がある。年齢が上がっても魅力的な仕事であり続けられるように取り組んでいただきたい。」旨の発言があった。

(3) 令和7年度ストレスチェック実施結果について（警務部）

警務部長から、令和7年度に実施した警察職員のストレスチェック結果について報告があり、委員から「職員の評価が業務負担に見合っただけでなく、なされるようにしていただきたい。」旨の発言があったほか、ストレスが高いものと判定された職員への対処について「面談など精神的なケアが行われていることは大変よいので、今後も強化していただきたい。」旨の発言があった。

(4) 春の連休期間中における山岳遭難防止対策について（地域部）

地域部長から、春の連休期間中における山岳遭難防止対策について報告があり、委員から「増加する外国人観光客への対処など関連する話題に目を向け、変化に合わせた対応を検討していただきたい。」旨の発言があった。

(5) 「若手ジャンプ・アップ研修」の結果及び継続実施について（地域部）

地域部長から、若手地域警察官の育成制度である「若手ジャンプ・アップ研修」の結果と継続実施について報告があり、委員から若手の育成について「若い職員が疑問や不安な点をオープンに相談できる環境の整備が大切である。」「指導する側への意識付けも大切である。」旨の発言があったほか、研修効果に係るアンケート結果について「消極的な意見も出ているということは制度の検証が健全に行われていることの裏返しである。そのような意見の職員が考え方を見直せるような改善を加えていただきたい。」旨の発言があった。

(6) 死亡ひき逃げ事故の発生と被疑者検挙について（交通部）

交通部長から、伊豆市内で発生した死亡ひき逃げ事故に関して、概要と被疑者検挙について報告があった。

(7) 第70回静岡まつりに対する雑踏警備実施の結果について（警備部、静岡中央警察署）

警備部長から、第70回静岡まつりに対する雑踏警備の実施結果について報告があった。

2 個別決裁・報告等

(1) 表彰案件・監察案件（監察課：課長）～決裁

(2) 公安委員会聴聞（病気事由）該当者について（運転免許課：課長補佐）～決裁

(3) 警察において身体を拘束されている者の食糧に要する経費の廃止制定について（留置管理課：課長補佐）～決裁

(4) 公安条例の取扱状況について（警備課：次席）～決裁

(5) 三重県亀山市発生交通死亡事故遺族への被害者支援について（警察相談課：課長補佐）～報告

(6) 公安委員会宛て文書等について（総務課：管理官）～決裁

(7) 警察署協議会委員の辞職の申出と委嘱候補者について（総務課：管理官）～決裁

3 運転免許の行政処分

意見の聴取・聴聞実施件数は9件で、警察からの個別の説明を基に処分を決定した。